

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会

Injury Alert (傷害速報)

No. 122 ウォーターサーバー後面の排水栓から排出した温水による熱傷

事例	基本情報	年齢：7歳3か月 性別：女児 体重：18 kg 身長：110 cm
	家族構成	母，姉2人（16，12歳），兄2人（14歳，13歳），弟（1歳），本児
	発達・既往歴	発達遅滞なし 特記すべき既往歴なし
臨床診断名		右母指Ⅰ度熱傷（1%未満），背部浅達性Ⅱ度熱傷（約2%）
医療費		外来 16,120円
原因対象	対象名称	ウォーターサーバー（床置き型） 本体サイズ（cm）：幅30.5×35.0×高さ99.0 本体後面の床から49 cmの高さに排水栓（製品を長期間使用しない場合に本体内部から排水するための栓）がある。
	入手経路 使用状況	2021年10月からレンタル開始し，居間とダイニングの間あたりに設置して毎日使用していた（図1）。
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	寝室に母と1歳弟がいた。母は電話中であった。 ほか，12歳姉がダイニングに，13歳兄が別室にいたが，受傷時の状況を目撃した者はいない。
	発生年月日	2021年12月X日（木） 午後7時頃
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	受傷直前まで，本児は居間で遊んでいた。本児の声を聞いて，隣の寝室から母が様子を窺ったところ，ウォーターサーバーの後面にある排水栓（図2，3）が開き，温水が漏れ出ていた。本児はすぐそばにしゃがみこんでおり，着ていた衣服の背中あたりが濡れていた。本児の服を脱がせたところ，背部に熱傷を認め，救急外来を受診した。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰		救急外来受診時，本児の全身状態は良好で，バイタルサインに異常はなかった。右母指および背部の熱傷部位に対して，洗浄後ワセリンを塗布しガーゼで被覆した。受傷翌日に再診し，熱傷深度の悪化や感染徴候がないことを確認した。以降は近医皮膚科に紹介転医し，後遺症なく治癒した。
キーワード		ウォーターサーバー，排水栓，熱傷

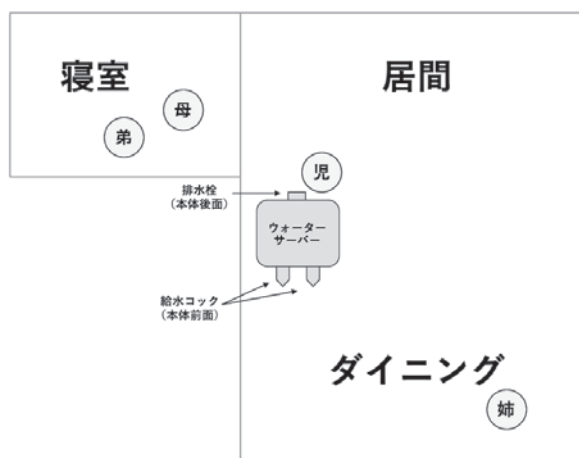


図1 ウォーターサーバーの設置状況と発生時の状態
給水コックのある本体前面をダイニングに向けて設置していたため，排水栓のある後面は居間に向かってむき出しの状態であった。

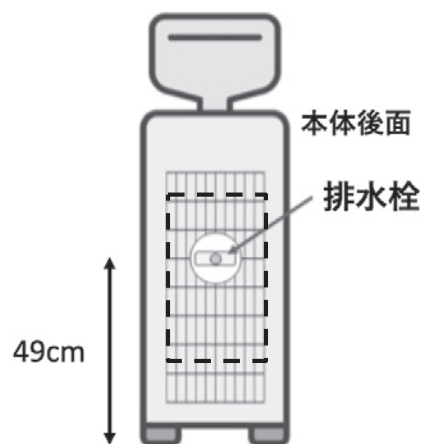


図2 排水栓のある本体後面模式図
排水栓は床から49 cmの高さにある。破線で囲んだ部分の実物拡大写真をもとに，詳細を図3に示す。



図3 本体後面，排水栓部分の実物写真

写真左：灰色のキャップカバーは，手前に引っ張ると外れる。

写真右：灰色のキャップカバーを外したところ，白色のキャップは，通常のネジ式蓋の如く反時計回りに回すと外れる。

本児は金属網の内側に入り込んでしまったペンを取ろうと思ってキャップを開けたという（これが網の取り外しではなく排水のためのキャップだということは知らなかった）。

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

1. ウォーターサーバーによる子どもの熱傷は，Injury Alert（傷害速報）でも類似事例を含めこれまで複数報告がある¹⁾が，排水栓から排出された温水による受傷は前例がない。
2. 製品の取扱説明書によると，この排水栓は，製品を長期間使用しない場合に本体内部に残っている水分を抜き切るためのものという。当該仕様の用途と操作に関する説明頁には「この時，温水によるやけどの恐れがありますのでご注意ください」との注意書きがあるものの，その旨製品本体には警告表示されていない。
3. 同様の傷害が繰り返されないために，以下のような予防策が必要である。
 - 〈一般家庭における安全対策〉
 - ・子どもが排水栓に容易にアクセスできないよう，本体後面を壁側に向けて設置する。
 - ・年長児以上では，製品の正しい使い方と危険な箇所について家族で一緒に確認する。
 - 〈製品およびメーカーにおける改善・改良課題〉
 - ・排水栓にもチャイルドロック機構を施すことを検討する。
 - ・本体の排水栓付近に「温水によるやけどの恐れ」に関する警告を目立つよう表示する。
 - ・購入・レンタル使用者へ，使用開始時にメーカー側が排水栓の用途と注意点についても説明し，家庭での設置方法に関して明確な助言を行うよう徹底する。

参考文献

- 1) Injury Alert. No. 75 チャイルドロック機能付ウォーターサーバーによる熱傷. 日児誌 2018 ; 122 : 961-963.
<https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/injuryalert/0075.pdf>